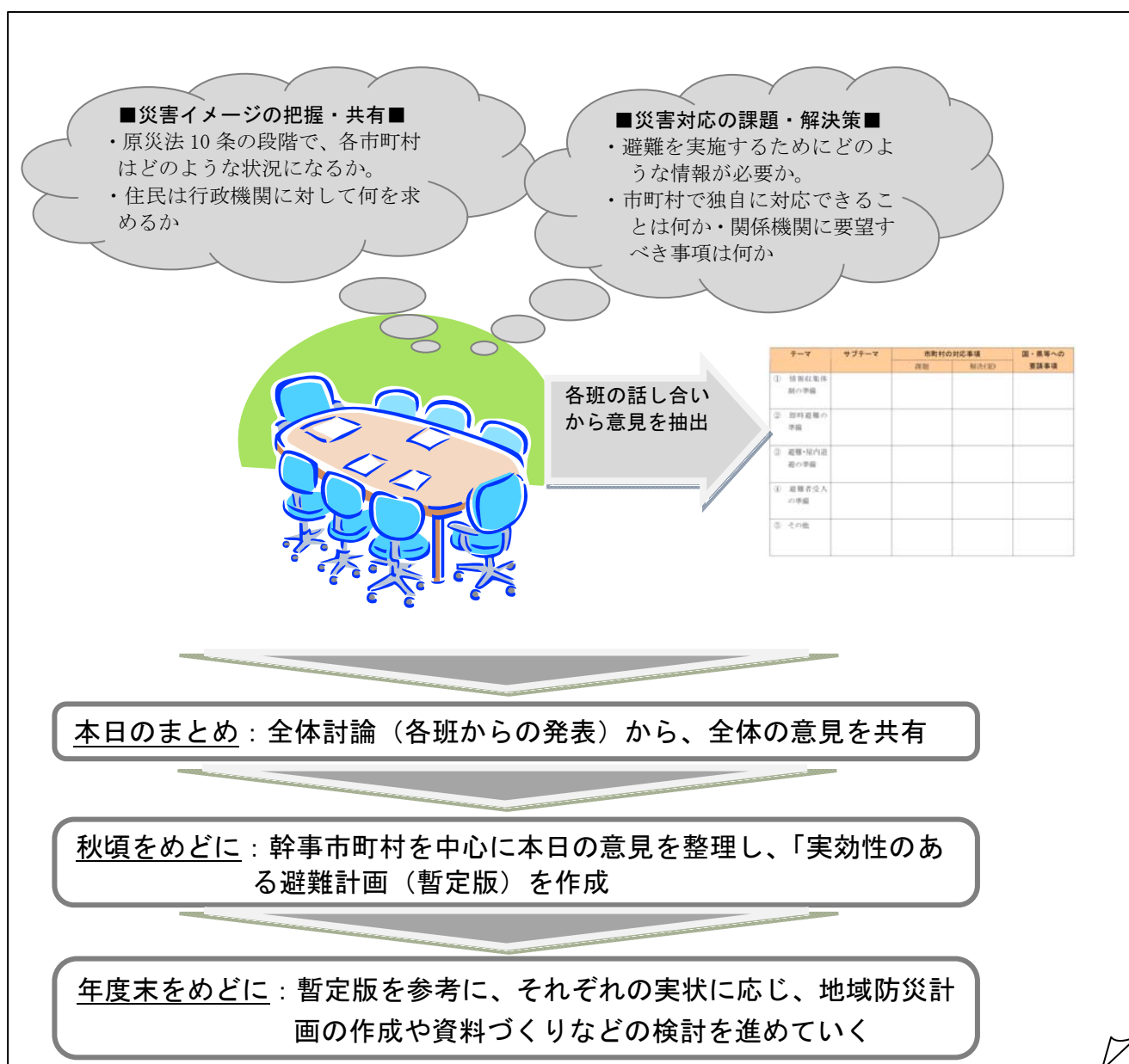


グループ別検討の目的・進め方

1 グループ別検討の目的

- グループ別検討では、参加者が原子力災害時の課題や各市町村が対応すべき事項などを議論し、その結果から、現在策定中の県内全市町村が連携した「実効性のある避難計画（暫定版）」への反映事項を抽出することを目的とします。
- 災害状況を共有し、災害対応の課題や解決策を話し合う作業を行います。



本日のグループ別検討のイメージ及び目的

2 グループ別検討の進め方

(1) 班構成

① 全体

- 原子力安全委員会が示した中間とりまとめの区域分けを参考に、PAZ・UPZ 市町村、UPZ・PPA・PPA 超市町村のように区分しました。

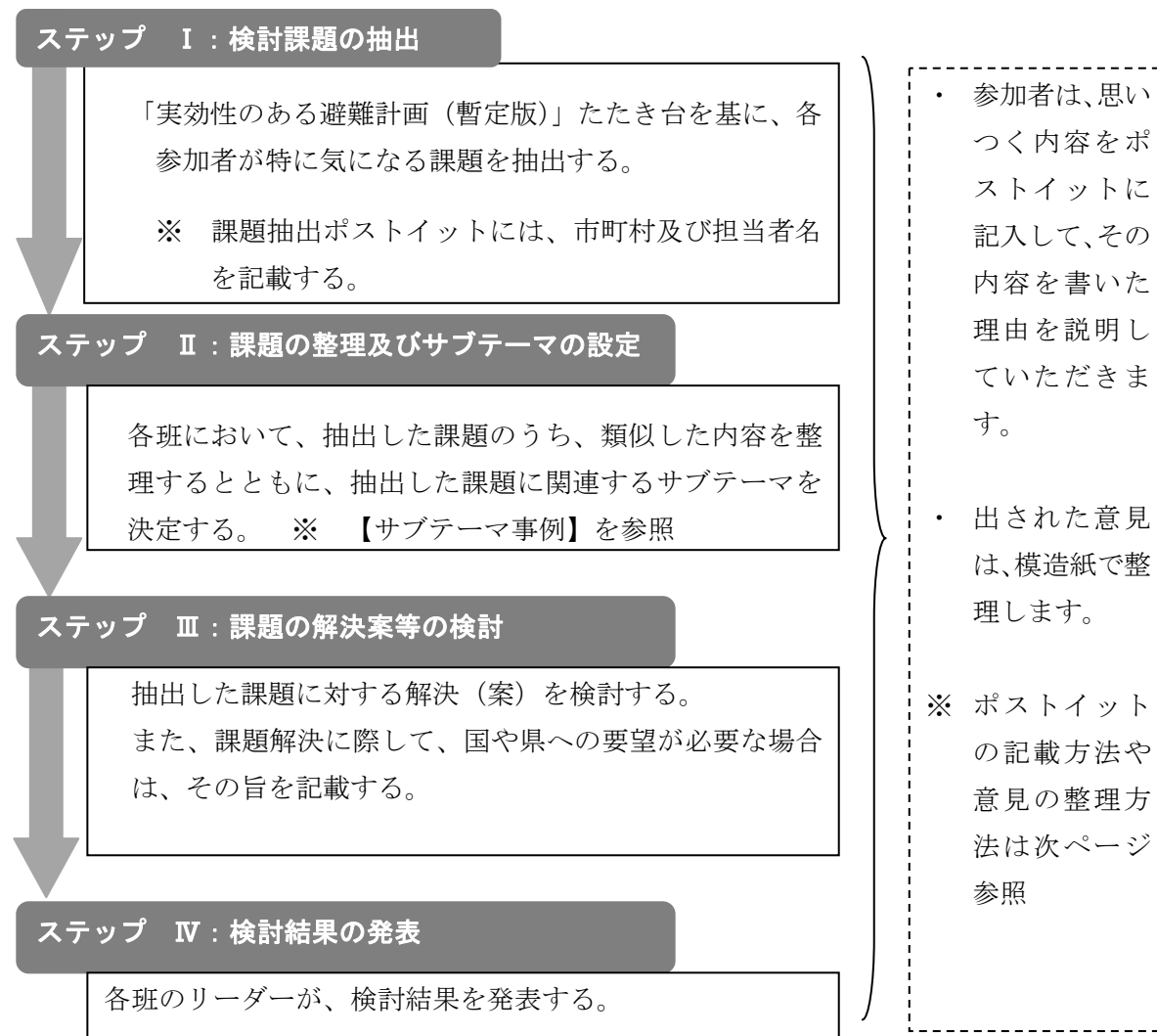
② 各班内の役割分担

- 各班6～7名で以下のように構成

班員	役割
リーダー	進行、全体とりまとめ、発表
班員	意見出し（ポストイットへの記入、積極的な発言、模造紙やホワイトボードへの記入など）

※ 長岡市、社会安全研究所の担当が進行補助を担当いたします。

(2) グループ検討の流れ



(3) 意見整理方法

① ポストイットの記入方法

- ・ 以下のように、対応する内容によって記入するポストイットの色を変えて記入をしてください。
- ・ 具体的な内容を記載してください。
- ・ 課題（ピンクのポストイット）には、課題を提案した市町村名及び担当者名を記載してください。

ピンク	・ 課題
青	・ 市町村が対応すること
黄	・ 国、県へ要請すること

② 意見の整理方法

- ・ ポストイットを模造紙に貼り付けて意見の整理をしてください。
- ・ 意見は以下のような枠組みで整理をします。

テーマ	Ⅱ サブテーマ	市町村の対応事項		Ⅲ 国・県等への要請事項
		I 課題	Ⅲ 解決(案)	
① 情報収集体制の準備				
② 即時避難の準備				
③ 避難・屋内退避の準備				
④ 避難者受入の準備	・ 効果的なスクリーニング対応について	・ 場所の選定は どうするのか ・ 県と市町村の 役割分担はど うするのか	○○○○○○○○	△△△△△△△
⑤ その他				

【サブテーマ事例】

- ・ 情報収集の方法等
- ・ 避難用バスの確保等
- ・ 効果的な交通規制のあり方等
- ・ 安定ヨウ素剤の配備及び住民への配布方法等
- ・ 災害時要援護者への対応等
- ・ 住民へのわかりやすい情報提供等
- ・ 円滑な避難所対応等